

2023年1月13日

各位

株式会社リボミック  
代表者名 代表取締役社長 中村義一  
(コード番号：4591 東証グロース)  
問合せ先 執行役員財務経理部長 米林渉司  
TEL. 03-3440-3745  
学校法人日本大学

### リボミックと日本大学との網膜疾患に関する 共同出願完了のお知らせ

株式会社リボミック（東京都港区、代表取締役社長 中村義一、以下「リボミック」）と学校法人日本大学（東京都千代田区、理事長 林真理子、以下「日本大学」）は、この度、日本国特許庁に対して共同で、アプタマーを含んだ、増殖性硝子体網膜症（PVR）の予防用医薬組成物に関する、第二医薬用途特許\*の出願を行ないましたのでお知らせします。

PVRは多種の細胞が網膜表面、網膜内、硝子体腔内で増殖膜を形成し、当該増殖膜が収縮することによって網膜に皺襞形成や牽引性網膜剥離が生じ、失明に至る疾患で、網膜剥離の手術後や、眼球に強い衝撃が加わることで起きる非穿孔性眼外傷において生じる合併症であり、硝子体手術などの治療によっても重篤な視力障害や失明に至ることが多く、また、現在のところ有効な予防法は存在しません。

核酸医薬の一種「アプタマー医薬」の開発を目的とする、創薬プラットフォーム系バイオベンチャーであるリボミックは、網膜の炎症や異常な細胞の増殖抑制効果が期待できる複数のアプタマーを開発しています。また、日本大学医学部視覚科学系眼科学分野では網膜剥離をはじめ網膜疾患治療に高い実績があり、長岡泰司診療教授らのグループではPVRの動物モデルを保有しています。

このたび両者は、前記動物モデルでPVRに対する予防効果が確認されたアプタマーを含む組成物についての第二医薬用途特許を出願するに至りました。

なお、本出願に伴い、リボミックと日本大学は共同出願契約を締結しておりますが、当該契約内容については非開示とさせていただきます。

本件によるリボミックの2023年3月期業績への影響は軽微です。

\*公知物質について、最初に見出した医薬用途（第一医薬用途）とは別の医薬用途（第二医薬用途）を権利範囲として記載した特許

以 上